



## NY 市場レポート

### ◀ NY 市場概況 ▶

先週末の NY 外国為替市場では、トランプ米大統領が EU からの輸入車に 20% の関税を賦課する可能性に言及したことから、貿易問題に対する懸念が高まり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。一方、OPEC 総会での増産が予想の範囲内に留まり原油価格が大幅反発したことから、米長期金利は前日比小幅な低下に留まった。また、カナダの消費者物価指数や小売売上が予想を下回ったことで利上げ観測が後退、クロス円の下落とともにドル円も上値が重く、欧州市場序盤の 110 円台前半から 109 円台後半への下落以降、109 円台後半を中心とした小動きに終始した。原油価格の上昇でカナダや豪ドルなど資源国通貨も取引終盤にかけて上昇したこともあり、ドル円の 109 円台後半での堅調地合いを支援した。

### 主要な米経済指標結果

6 月マークイット米国製造業 PMI 54.6 (予想 56.1・前回 56.4)

6 月マークイット米国サービス業 PMI 56.5 (予想 56.5・前回 56.8)



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

## ダウ平均株価は9営業日ぶりの反発

米株式市場は、ダウ平均が前日まで8営業日続落したことで、割安感が出た銘柄が買われるなど、ダウ平均、S&P500は反発となった。また、原油相場の急伸で収益改善が意識された石油株が買われたことが、全体を押し上げた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比201ドル高まで上昇した。ただ、その後は上げ幅を縮小し119ドル高で終了、9営業日ぶりの反発となった。一方、ナスダックは序盤から上値の重い動きが続き続落となった。



出所：Bloomberg

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	素材	2.63%	1	DowDuPont	2.63%
2	通信サービス	2.32%	2	マクドナルド	2.50%
3	石油・ガス	2.08%	3	ベライゾン	2.32%
4	ヘルスケア	0.93%	4	GE	2.27%
5	資本財	0.53%	5	エクソン	2.12%

出所：データを基にSBILMが作成

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。